

鷺沼小学校区が優勝

モリシア杯少年野球大会

第39回モリシア杯「習志野市小学校区対抗少年野球大会」が10月5日から12日まで、第一カッター球場ほかで開かれた。大会はモリシア杯少年野球実行委員会の主催、モリシア津田沼の協賛で行われた。開会式では、前年度優勝の向山・谷津南小学校区チームから大会会長を務めるモリシア津田沼の宮間俊一館長に優勝旗、優勝杯が返



準優勝の大久保小学校区



優勝の鷺沼小学校区



第3位の屋敷小学校区



第3位の実花小学校区

モリシア津田沼では、引き続き少年野球の後援を行う方針。大会結果は次の通り。

▽1回戦

鷺沼小	9-7	宮ヶ瀬東小
東習志野小	8-1	秋津・森小
実花小	4-2	津田沼小
夢東東小	10-0	藤崎小

▽2回戦

屋敷小	12-0	大久保東小
鷺沼小	12-3	書習志野小
実花小	4-0	夢東東小
大久保小	4-1	谷津小

▽準決勝戦

鷺沼小	2-1	屋敷小
-----	-----	-----

決勝戦は僅差の準決勝戦に勝利した大久保小学校区と鷺沼小学校区との顔合わせとなった。両チームとも1回は走者は出すが無得点。2回表、大久保は二塁打の6番鷺尾が盗塁、送球エラーでかえり先制。8番廣本は左安打、9番岩浪の右翼線三塁打で1点。さらに1番小林遙の二塁打で1点を加え、この回3点を奪う。これに対し鷺沼は2回

裏、6番上山が四球で出塁。8番原田は内野ゴロだが、エラーで二死走者一、三塁。9番中里は四球で満塁。1番秋山は四球で押出しの1点。2番清野の内野ゴロは相手エラーを誘い、2者がかえり同点とする。3回はともに無得点。4回表、大久保は内野安打の廣本が盗塁、悪投球で三塁に進み、岩浪の右翼打でかえり1点リード。しかし、鷺沼は4回裏、先頭の原田が右中間三塁打。中里は四球。秋山は内野ゴロで原田は本塁死となるが、清野も四球で満塁。3番住田の四球押し出しで同点とし、2回に継投で入った4番永田は内野ゴロだが、相手エラーの間に秋山がかえり逆転する。大久保は5回表、先頭の3番丸山が左翼線二塁打で好機を作り、4番川崎の内野ゴロで丸山は三塁まで進塁するが、攻撃もここまでとなった。

大久保小 3-0 実花小

▽決勝戦

大久保小学校区	03010	4
鷺沼小学校区	0302x	5

鷺沼小学校区の中里奏太キャプテンは「今日は優勝できて本当にうれしいです。この優勝は今回特別に参加してくれた仲間たちも含めたチーム全員のおかげだと思います。短い時間だったのに、すぐにチームに溶け込み、一緒に練習し、試合でも全力で戦ってくれて、本当にありがとうございませう。みんながいなかったら、この結果はなかったと思います。この優勝は25年ぶりということで、さらに特別なものです。みんなの力を合わせて、長い間待ち望んでいた優勝をつかむことができました」と話した。

千葉マリーンズ杯 習志野市選抜チーム健闘



習志野市選抜チーム

第26回千葉マリーンズ杯争奪選手権大会が9月28日と29日、ZOZOマリンスタジアムで開かれた。千葉幕張メッセライオンズクラブが主催するこの大会は、プロ野球公式戦が行われる球場でプレーできる。ことから、大会出場は少年球児たちのあこがれとなっている。大会には千葉市6区と習志野市、佐倉市の選抜チームが参加。開会式では習志野選抜の中里奏太主将が元気に選手宣誓を行った。

習志野市選抜は緑区選抜に勝利。次戦で中央区選抜と対戦したが、6-3で敗れ、3位となった。大会では美浜区選抜が3連覇を果たした。

〔習志野市選抜メンバー〕
中里奏太(鷺沼マリンズ) 丸山伸雄(大久保フロッグス) 五十嵐孔星(実花レジェンド) 吉田健人(向山ファイターズ) 高浜瑞生(向山ファイターズ) 岩沢航汰(ならしのフレンズ) 松友寛太(津田沼少年野球団) 根来真武(向山ファイターズ) 樋口貴太(向山ファイターズ) 笹原渉(習志野フェニックス) 山本風義(袖ヶ浦ポイズ) 佐藤竜哉(大久保フロッグス) 安藤優晴(実花レジェンド) 住田智哉(鷺沼マリンズ) 上野凌太郎(袖ヶ浦ポイズ) 縄村佳己(向山ファイターズ) 秋月勇人(実花レジェンド) 小林潤生(藤崎シークレット)

モリシア津田沼で写真展 少年球児たちの活躍紹介



モリシア津田沼では、第39回モリシア杯「習志野市小学校区対抗少年野球大会」の様相を記録した「モリシア杯少年野球写真展」を11月下旬から開催する予定。写真展では熱戦が繰り広げられた大会で、懸命にプレーした球児の姿が紹介される。